

第2章 事業の目的及び内容

2-1 事業の目的

市民生活や都市生活の中で生じる様々な廃棄物を適正に処理することは、生活環境の保全及び公衆衛生の向上はもとより、都市の健全な発展を図るうえにおいても極めて重要です。

広島市では、「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」を策定し、循環型社会の構築に鋭意取り組んでいますが、焼却工場からの焼却灰や不燃ごみなどについては、埋立処分に頼らざるを得ません。

また、都市を襲う種々の災害時を想定した場合には、迅速な都市機能の回復に向けて、発生した災害廃棄物の受入対応能力を備えておく必要もあります。

このように、最終処分場は、長期的に安定した廃棄物処理体制を確立するために不可欠な施設ですが、その整備には計画段階から埋立てを開始するまで長期間を要します。

このため、広島市では、現在稼働中の玖谷埋立地が平成31年度末に埋立てを終了することから、平成32年度からの新規最終処分場の供用開始を目指して、計画的に整備します。

2-2 事業の内容

2-2-1 事業の種類

最終処分場の設置

2-2-2 事業計画地

広島市佐伯区湯来町大字和田字南恵下 外（図 2-2-1参照）

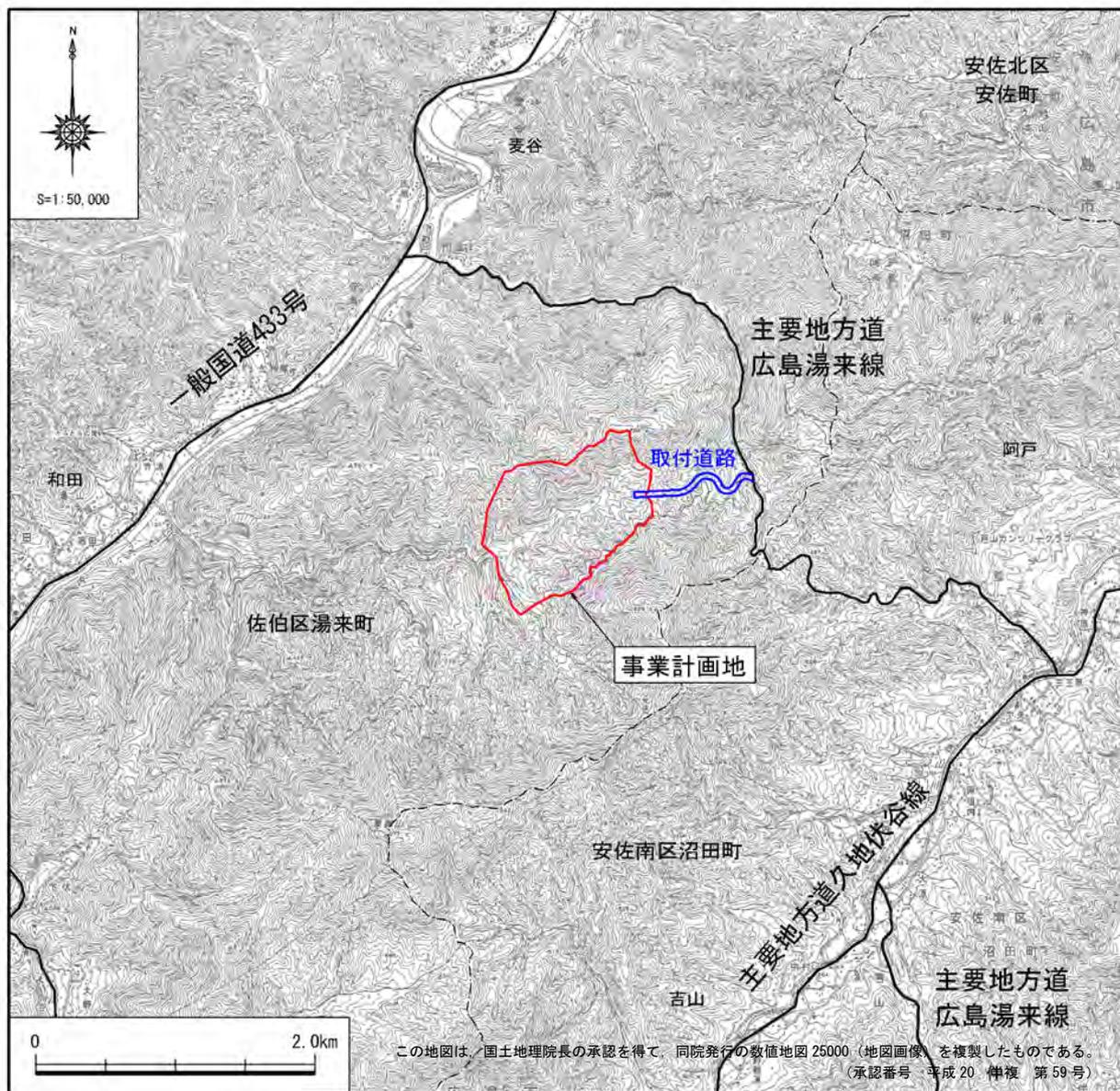


図 2-2-1 事業計画地位置図

2-2-3 事業の規模

事業の規模は、表 2-2-1に示すとおりであり、最終処分場は、事業区域面積約98ha、開発面積約28ha、埋立面積約11ha、廃棄物容量約160万 m^3 を計画しています。取付道路は、事業区域面積約4ha、開発面積約3haを計画しています。

また、事業の内容は、表 2-2-2に示すとおりです。

表 2-2-1 事業の規模

項目		最終処分場	取付道路
事業の規模	事業区域面積	約 98ha	約 4ha
	開発面積	約 28ha	約 3ha
	埋立面積	第Ⅰ期約 2ha, 第Ⅱ期約 9ha, 計約 11ha	—
	廃棄物容量 (廃棄物+即日・中間覆土)	段階的に埋立て、第Ⅰ期約 40 万 m^3 , 第Ⅱ期約 120 万 m^3 , 計約 160 万 m^3	—
	埋立期間	平成 32 年度から約 30 年間	—
平面図		図 2-2-2参照	
縦横断面図		図 2-2-3参照	
イメージパース		図 2-2-4参照	

表 2-2-2 事業の内容

項目	最終処分場	
既に決定されている内容	事業区域	計画地の北側、東側、西側は尾根筋とし、南側については国有林境界までとし、森林法で定める森林率及び林帯幅を確保する。 ・森林率：69.6%（基準概ね 50%以上） ・林帯幅：概ね 50m以上（基準概ね 30m以上）
	施設配置	周辺環境へ与える影響や、廃棄物容量及び土工バランスを考慮し、効率的に配置する。 ・埋立地は、急峻な地形である北側斜面の切土を避けて造成する。 ・貯留構造物を南側尾根が張り出した位置に設置し、その上流側に埋立地、下流側に防災調整池と浸出水調整池を配置する。 ・取付道路は、主要地方道広島湯来線から一部トンネルを経て埋立地最上流部の管理施設用地に至る。
	貯留構造物	貯留構造物は、現場発生土を堤体材料に利用し、法面緑化により周辺環境や景観との調和が図れる盛土ダム形式とする。
	遮水	(1) 遮土工 地質調査結果による地層構造や地盤の透水性を踏まえ、信頼性や強度に優れ、実績も豊富な二重遮水シート方式を採用する。 (2) 安全性を高める対策 万一、遮水シートが破損した場合には、損傷位置を発見し早期修復を可能にする遮水管理システムと、浸出水が混入した地下水を下流域に漏出させないよう堰堤末端部に鉛直遮土工を設ける。
	集排水施設	(1) 雨水集排水施設 時間当たり 120mm の降雨に対応する水路を、埋立ての進行に伴い段階的に設置する。 (2) 地下水集排水施設 二重遮水シート下の地下水を速やかに排除するため、埋立ての進行に伴い段階的に整備する。管径 30cm の幹線管渠と、管径 20cm の支線管渠を約 20m 間隔の葉脈状に配置する。

項 目	最 終 処 分 場																					
浸出水 集排水施設	埋立地の浸出水を速やかに浸出水調整池に流下するよう整備する。管径 60cm の幹線管渠と、管径 30cm の支線管渠を約 20m 間隔の葉脈状に配置する。また、約 2,000 m ² に 1 か所程度の間隔で堅型集排水管を設置する。																					
浸出水 処理施設	<p>(1) 処理施設 浸出水は、「凝集沈殿方式」+「砂ろ過方式」により処理する。その後、安佐南区側の公共下水道に接続して放流する。接続ルートは未定であり、公共下水道の進捗に合わせ整備する。また、放流管は、安全を考慮して 2 系統で整備する。</p> <p>(2) 浸出水処理能力、浸出水調整池容量 湯来町水内地区の観測所における過去 30 年間の最大降雨年の最大月 (1993 年 7 月) の降雨に対応可能な能力として、浸出水処理能力 1,300 m³/日、浸出水調整池容量 20,000 m³を整備する。</p>																					
埋立作業	埋立方式は、廃棄物の飛散防止のため、一日分の廃棄物に即日覆土する「セル方式」を採用し、廃棄物の埋立厚さ 2m 毎に 0.5m の覆土を行う。また、廃棄物の流出や崩壊を防ぐために構築する土堰堤は、1 段あたり高さ 5 m、法勾配を 1:2.0 とする。																					
管理施設	<p>(1) 搬入管理施設 円滑な搬入管理を行うため、受付棟、計量棟、トラックスケール、管理棟、車庫等を配置する。</p> <p>(2) 環境監視施設 環境監視(モニタリング)項目、測定項目及び測定箇所</p> <table border="1" data-bbox="533 913 1390 1151"> <thead> <tr> <th>環境監視項目</th> <th>測定項目</th> <th>測定場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下水水質</td> <td>PH, 電気伝導度, 塩化物イオン</td> <td>埋立地上下流部, 堰堤法尻部他</td> </tr> <tr> <td>浸出水水質</td> <td>水量, 下水道排除基準項目</td> <td>浸出水処理施設内</td> </tr> <tr> <td>放流水水質</td> <td>水量, 下水道排除基準項目</td> <td>浸出水処理施設内</td> </tr> <tr> <td>埋立ガス</td> <td>メタン, 二酸化炭素, 地中温度</td> <td>埋立地内</td> </tr> <tr> <td>気象</td> <td>風向, 風速, 雨量</td> <td>管理棟屋上</td> </tr> <tr> <td>沈下量・変位量</td> <td>沈下量, 変位量</td> <td>埋立地内, 貯留構造物天端</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 管理道路 通行する車両の種類や頻度を考慮して、幅員は 6.5m~5.0m とし、勾配は 10% 以下とする。</p>	環境監視項目	測定項目	測定場所	地下水水質	PH, 電気伝導度, 塩化物イオン	埋立地上下流部, 堰堤法尻部他	浸出水水質	水量, 下水道排除基準項目	浸出水処理施設内	放流水水質	水量, 下水道排除基準項目	浸出水処理施設内	埋立ガス	メタン, 二酸化炭素, 地中温度	埋立地内	気象	風向, 風速, 雨量	管理棟屋上	沈下量・変位量	沈下量, 変位量	埋立地内, 貯留構造物天端
環境監視項目	測定項目	測定場所																				
地下水水質	PH, 電気伝導度, 塩化物イオン	埋立地上下流部, 堰堤法尻部他																				
浸出水水質	水量, 下水道排除基準項目	浸出水処理施設内																				
放流水水質	水量, 下水道排除基準項目	浸出水処理施設内																				
埋立ガス	メタン, 二酸化炭素, 地中温度	埋立地内																				
気象	風向, 風速, 雨量	管理棟屋上																				
沈下量・変位量	沈下量, 変位量	埋立地内, 貯留構造物天端																				
関連施設	<p>(1) 取付道路 主要地方道広島湯来線からトンネル約 0.3km を含む延長約 1.1km の道路で、幅員は 2 車線 6.5m とし、勾配は 8% 以下とする取付道路を整備する。</p> <p>(2) 飛散防止設備 埋立地の外周部に高さ 2m 程度の飛散防止フェンスを設置する。</p> <p>(3) 電気設備 電力会社から供給を受ける。なお、停電時に備え非常用電源を設置する。</p> <p>(4) 水道設備 井戸を設置する。</p> <p>(5) 立札, 門扉, 囲障設備等 埋立地の維持管理に必要な諸施設を設置する。</p>																					
防 災	<p>(1) 防災調整池 30 年確率降雨に対応可能な防災調整池として、容量約 45,500m³を設置する。</p> <p>(2) 暫定的調整池 上記防災調整池とは別に、第 I 期埋立期間中は容量約 30,000m³の暫定的な調整池を第 I 期埋立区画の上流部に設置する。</p> <p>(3) 土砂流入防止設備 土砂流入の危険性が想定される 3 溪流について、土砂流入を防止するためのコンクリート堰堤を設置する。</p>																					

既に決定されている内容

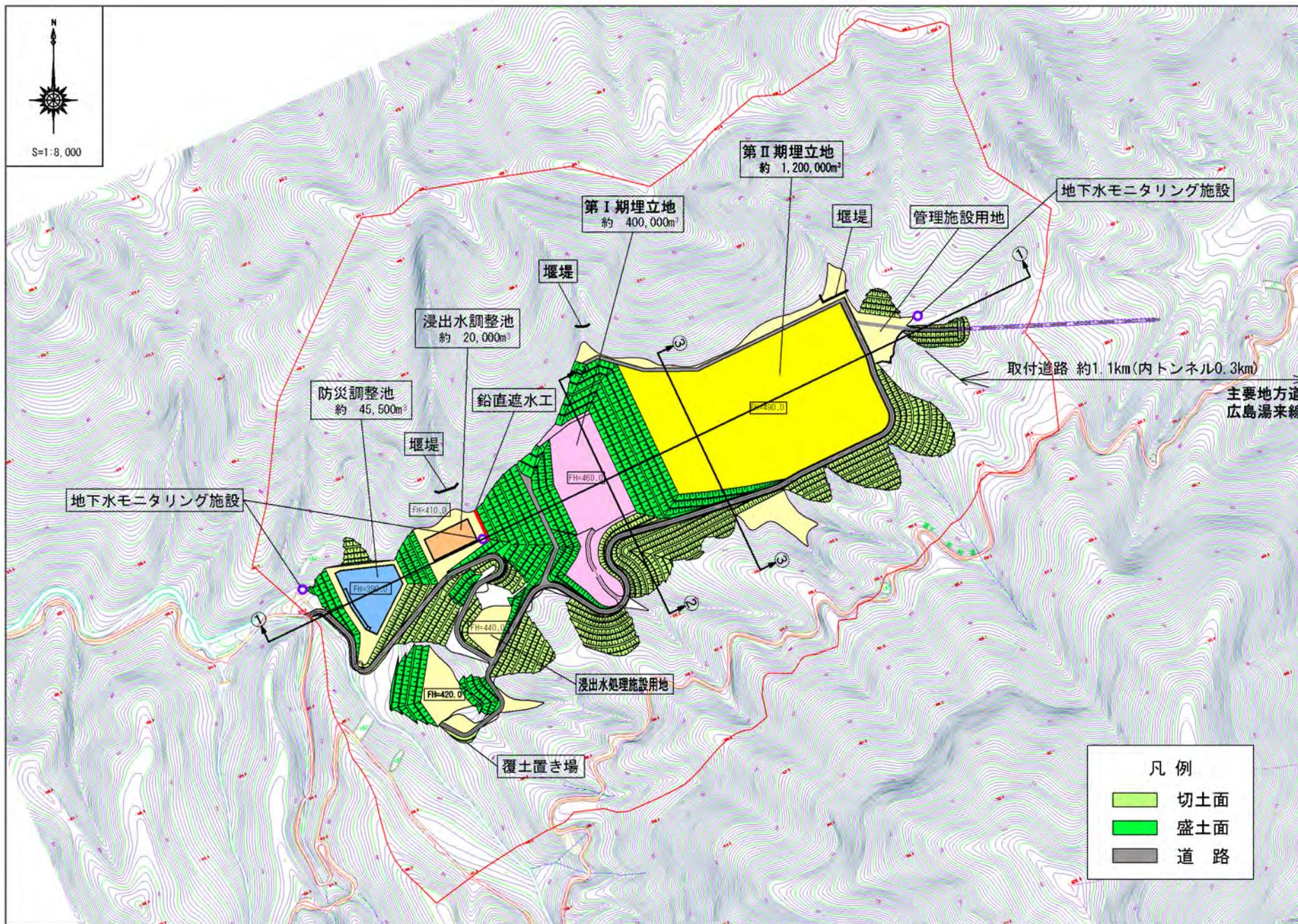
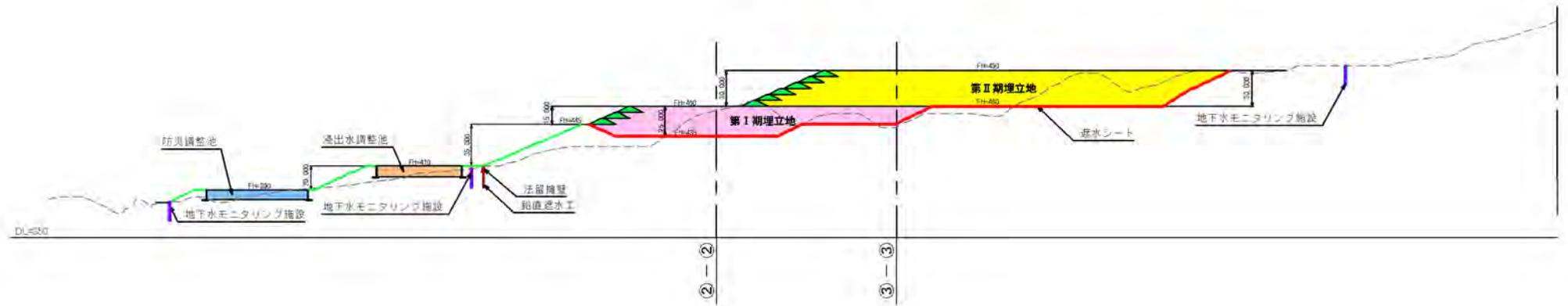
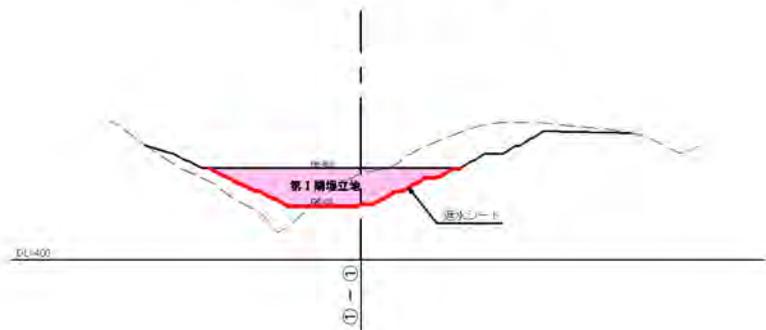


图 2-2-2 埋立地平面图 (S=1:8,000)

① - ① 断面図



② - ② 断面図



③ - ③ 断面図

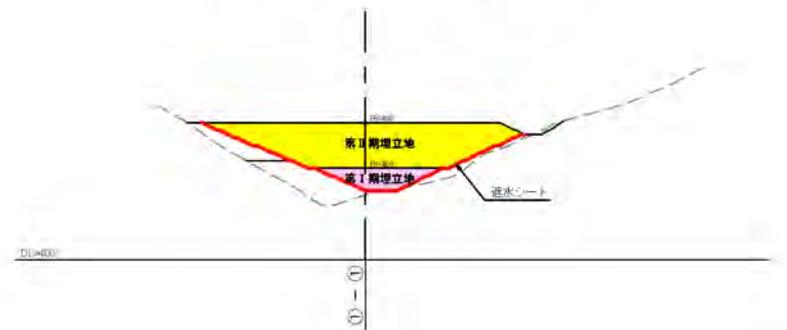


図 2-2-3 埋立地縦横断面図 (S=1:5,000)